



市議会うんなん

no.16
2009.1.20



平成20年 第3回臨時会 12月定例会

- 議長あいさつ 2
- 議会構成決定 3
- 12月定例会報告 4
- 委員会報告 議会運営委員会・総務委員会・教育民生委員会・産業建設委員会・ダム対策特別委員会 5~7
- ここが聞きたい 一般質問 20名の議員が登壇 8~15
- 請願・陳情 議員活動報告 ほか 16

新布陣で
スタート！

雲南市議会 議会構成決定

全市一区選出・議員定数24名による雲南市議会がスタートしました。

11月28日に臨時会が開催され議会構成が決まりました。

12月定例会は12月3日から18日までの会期で開催され、活発な議論が展開されました。

ごあいさつ

雲南市議会議長

堀江 真



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には平成21年の新春を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は新生雲南市発足から4年が経過し市
長・市議会議員選挙の年でした。市議会では
「定数等検討委員会」を設置し選挙区は全市
一区とすること、また定数は24名とすること
が決定されました。

11月9日告示、16日投票が行われ新議員24
名が誕生したところであります。また28日に
開催された臨時会において、不肖私が議長に
就任いたしました。もとより微力であります
が市勢発展と市議会の更なる活性化に努力し
ていきたいと思います。

さて昨年秋頃からのアメリカ経済の破綻に
伴い、わが国でも急速に景気が悪化、派遣切
りに代表される百年に一度と言われる厳しい
経済状況と深刻な格差問題が生じています。

国において緊急対策が講じられようとする
中で衆・参両院のねじれ現象は憂慮されます
が早期の効果的対策を期待するところです。
雲南市では財政非常事態宣言の中で、平成
24年度の收支均衡を目指している最中ですが、
公立雲南総合病院の経営悪化による多額の財
政支出や市立病院化の問題、老朽化した小・
中学校の改修耐震化、保育所の民営化、公民
館の交流センター化、22年度完成予定の尾原
ダム周辺の活性化対策、深刻な有害鳥獣対策
等々、喫緊の課題がまさに山積しています。

審議を担当する各委員会では積極的に現場に
出かけ多くのご意見を伺い、審議過程の情報
公開に努めると共に、より分かり易い議会に
していきたいと思います。

平成21年の初春に当たり市民の皆様のご健
康とご多幸を祈念し御協力をお願い申し上げ
ご挨拶いたします。

第3回臨時会報告

第3回臨時会は安井議員を仮議長とし、議員と執行部の自己紹介から始まりました。

まず正副議長の選挙を行ない、議長に堀江真議員、副議長に石川幸男議員を選出しました。



その後各議員の3常任委員会・議会運営委員会
所属を決定しました。特別委員会については、ダメ

ム対策特別委員会の継続設置を決定し委員を選出しました。(今回は、高

速道路対策特別委員会及び公立雲南総合病院市立

監査委員選任の同意案件1件を採決決定し、さら
に執行部から2件の市長専決処分案件の報告を受
け質疑を行い、初議会を終わりました。

議會構成

○安井田徳夫
◎深田徳夫
○安井田徳夫

總務常任委員會

○周藤原信宏強
○藤原政文実之夫
○堀江徳治夫
○細田寛治
○藤原田政
○深堀田徳

石川 幸男

堀江真

◎ 細田 実
福島 浩実
佐藤 隆司
西村 雄一郎
細木 和幸
周藤 強
光谷 由紀子
小林 真二

藤原政文
村尾晴子
吉井傳
石川幸男

◎ 委員長

周	福	高	山	周	○	西	○	山
藤	島	橋	崎	藤	村	嶠		
光	雅	英	志	正	雄	一郎	正	幸
強	浩	彥	志	志				

議会広報編集委員会

○加藤原政文

特別委員会

一部事務組合等議會構成

雲南広域連合議会議員

堀江一郎
雄村和幸
西木和幸
細木和幸
堀江和幸
眞司隆志
眞英崎志
眞佐山崎

堀江眞周藤強
山崎英志光谷由紀子
高橋雅彦小林眞二

堀江眞福島光浩傳
細木吉井傳

雲南市・飯南町事務組合議会議員

古坂若
林本楓
暢益
修子雄

監查委員
土元江博昭

雲南市副市長
藤井勤

第3回臨時会及び 12月定例会で 同意された人事案件

雲南市議会2期目「本格始動」

12月雲南市議会定例会は、平成20年12月3日から18日までの会期で行われました。

財政難、百年に一度と言われる金融危機に直面する中、雲南市の現在とこれからとを審議する雲南市議会がスタートしました。

主な議案

○副市長の定数削減

副市長の定数を2名から1名にする。

○学校給食費の改定

食材費の高騰に伴い給食費を次のとおり改定するもの。なお、保護者負担の雑費4円を雲南市負担とし、その分単価を下げている。

○国民健康保険条例の一部改正

・出産一時金の増額

産科医療保障制度の創設に伴い上乗せされる保険料3万円を増額する。

(現在35万円支給を38万円に)

・年12回の分割納付を新年度7月から9回均等納付に改めるもの。納付総額は変わらず一回の納付額が上がるが、年度中途の調整を不要とし、事務の効率化をはかる。

(別表2)

一般会計予算

○雲南市健康福祉センターの設置
保険、医療、福祉を総合的に推進するため、旧町村単位に六ヶ所設置。使用料等を定める。

○三刀屋総合センター、三刀屋農村環境改善メインセンターを三刀屋地内54号線沿いに設置する。

一般会計予算

歳入歳出とも7億5,760万円の増額補正案が提案され、原案どおり可決した。

年度総額277億7,500万円の予算となつた。

補正の内、歳出の主なものは、衛生費2億1,660万円増(内、公立雲南総合病院負担金1億7,230万円)、商工費3億3,770万円増(内、山方企業団地造成事業3億3,000万円)、災害復旧費1億8,500万円増。

(別表1) ○学校給食費の改定

給食費1食あたりの単価表

	1食単価	内訳			
		主食費	副食費	牛乳費	雑費(光熱水費)
幼稚園	現行	227	27	151	45
	改正後	236	29	162	45
	増額分	9	2	11	0
小学校	現行	245	35	164	42
	改正後	257	38	176	43
	増額分	12	3	12	1
中学校	現行	287	44	197	42
	改正後	301	47	211	43
	増額分	14	3	14	1

(別表2) ○国民健康保険条例の一部の改正

国保料の納付回数の変更表

	年間の納付回数	納付期間内訳		総額に変更はありません。
		仮算定期間	本算定期間	
現行	12回	4月～6月	7月～3月	
改正後	9回	—	7月～3月	

委員会報告

議会運営委員会



委員長 周 藤
強

議会機能の強化・改革の推進を

議会運営委員会の役割

議会運営委員会は、円滑な議会運営を期すため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る強い調整機能を有しています。

これまで9名の委員で構成されていますが、今期からは、各常任委員会から2名ずつ選出された6名の委員で構成しています。

地方自治法の改正により、議会の機能が拡充され、その役割を果すことが期待されているところです。

平成18年の法改正により、常任委員会と同様に所管する事項について議案を提出することができるようになります。

雲南省議会議規則の改正

地方議会において、議案の審査、議会運営の充実を図るために各種会議等が開催されている実態を踏まえ、議会活動の範囲を明確化するため、平成20年6月に地方自治法の一部改正が行わ

れました。

これに伴い雲南省議会議規則の一部を次のように改正しました。

◎全員協議会、正副委員長会は、協議内容を記録し、明確化した会議とする。

人事案件について投票による選挙を実施

執行部が議会に同意を求める人事案件のうち、副市長・教育委員・代表監査委員については、投票による選挙を行うこととしました。

委員会のテレビ放映について

現在は一般質問がテレビ放映されています。そのことにより『一般質問のみが議会』のように市民のみなさんに写っている感があります。

〈予算関係〉

平成20年度一般会計補正予算（所管委員会分）は固定資産評価替システム改修等の電算管理事業、市税電子申告システム事業が主な補正でありました。付託された条例3件、指定管理の指定期17件、補正予算1件は全て全会一致で可決すべきものと決しました。

総務委員会



委員長 深 田 徳 夫

〈その他事項〉

改選後、初の総務委員会は、最初に市長に対する総括質疑を行い、交流センター構想の疑義、指定管理者制度の

将来の方向性、市職員の減員による市政運営への影響、派遣労働者に対する市の対応などについて活発な議論が展開されました。

〈条例関係〉

副市長を二人体制から一人にする副市长の定数に関する条例、三刀屋町の支所の完成による設置条例、木次町芦原局鉄塔施設完成による設置及び管理に関する条例等の一部改正、公の施設の指定管理者の指定について所管委員会分を審議しました。

交流センター構想の設置条例案を3月に提出したいとの説明がありました。が、質疑は後日とし、調査研究を行うこととしました。

雲南ブランド化プロジェクトのホームページの概要説明、食育のふるさとづくり推進に関する食育推進計画の説明、地域振興補助金の21年度の考え方などが示されました。



CO-UNNAN 情報発信サイト開設
(<http://www.co-unnan.jp/>)

委員会報告

教育民生常任委員会



委員長 細田 実



委員長 堀江治之

委員会に付託された議案のうち、学校給食費を値上げする条例については賛成多数で、他の議案については全会一致で可決すべきものと決しました。

（条例関係）
学校給食費を値上げする条例については、給食は教育の一環であり、納入業者との協議を行い、納入価格を抑制し、保護者の負担を軽減すべきではないか。また、給食費の上昇部分の保護者への転嫁は基準がいるのではないかとの質問、意見が出されました。

市長の答弁は、従来の光熱水費保護者負担一食4円を市の負担としたうえでの値上げ提案である。食材の納入価格交渉については、納める側の経営の事情も考える必要があり、給食内容を維持するためにやむを得ず値上げを提案したこと、給食費の基準について検討したい旨の答弁がありました。

国民健康保険料の納入について仮案を廃止し、納期を7月から3月までの9期とすることについては、市民への広報を十分行うよう意見が出されま



子どもたちは給食がすごく楽しめます

（予算関係）

改めてその繰り出しの考え方、地方公営企業法の規定に基づく算定方法について執行部の説明を求めるなど慎重に審議しました。

（条例関係）
全体の審議概要としては、サブローンの焦げ付きから端を発し、全世界的な金融危機、経済不況の広がるなか、雲南市の産業振興に関する質問、意見が多く出されました。

新築移転による住所変更に伴う「雲南市三刀屋農村環境改善センター条例」の一部改正条例が提案されました。

（予算関係）

一般会計「所管委員会分」では、山方企業用地造成事業3億3,000万円、公社造林受託事業3,783万円、根波生活改善センター管理事業2,060万円等、その他簡易水道事業特別会計、生活排水処理事業特別会計、土地区画整理事業特別会計、清嵐荘事業特別会計、工業用水道事業会計において補正予算が提案されました。

（その他事項）
なお、上水道整備に関する陳情については、継続審査としました。

産業建設委員会



1月19日オープンの三刀屋農村環境改善センター及び三刀屋総合センター

ダム対策特別委員会



委員長 藤原政文

昭和30年代初めから始まつた尾原ダム事業は、平成22年度ダム本体完成に向け、着々と工事が進んでいます。

ダム建設の基本的な目標達成と周辺整備は共にダム構築の原点であり、関係者の合意に基づく当初の計画の達成がなされてこそ成果を見るものです。「島根県百年の大計」と言われながら、財政状況等の影響で見直しが余儀無くされた現実もあります。

多くの地権者、地元の方々、関係された方々の「おもい」を考える時、国・県・市には、責任ある対応が求められます。

12月16日開催した当委員会では、

- ①尾原ダム事業の経緯
- ②ダム建設進捗状況
- ③ダム周辺整備事業

等について、改めて説明を受けました。

特にダム周辺整備については、ダム本体完成時期を考えると大事な時期にあると認識しています。また、尾原ダム事業は、長く重い歴史があるとともに、今後の雲南市において、多くの交

流人口が見込まれるものもあります。委員一同、関係団体の皆さんをはじめ、市民の皆さんからの声を積極的に聞きながらダム対策に係る調査研究を行うことを確認しました。



市民の声を反映した周辺整備計画を(尾原ダム地域づくり活性化研究会)

中国横断自動車道 尾道松江線～最近の様子～



平成20年代後半の全線開通にむけて進む工事



全長4,878mの吉田大万木トンネルが着工

20名の議員が問う

ここが聞きたい

一般質問



小林眞一

一般質問のページは
質問者本人の原稿を
もとに広報委員会で
編集しました。また
質問項目すべてを載
せているものではありません。

答 収支均衡は彈力的決断を



細木和幸

目指すことがサービスの
向上に結びつく。

産業振興部長 ゆとりの
里は6年間で約3,60

0万円の修繕費を支出。
老朽化のため3月末で閉
鎖したい。

問い合わせ 小泉改革による痛
みは限界を超えている。
24年度収支均衡を弾力的
に繰り延べる等、果斷な
決断はできないか。

市長 24年度収支均衡な
くして、あすの雲南市は

ないと思う。最重要課題
であり、弾力的に考える
ことはできない。

建設部長 幹線道路中心
に予算の範囲内で効率的
に整備を進める。

選挙区の見直しについて
市長 雲南市の一体化に
支障をきたしている。一
本化の実現に努めたい。

問い合わせ 生活関連市道や緊
急車両の入り難い市道の
早期整備充実を。

建設部長 幹線道路中心
に予算の範囲内で効率的
に整備を進める。

問い合わせ 福祉施設の充実を。
健康福祉部長 福祉計画
を策定し積極的に進め
る。

問い合わせ 新型インフルエン
ザ対策は。

健康福祉部長 12月中旬に
対策会議を開催する。

問い合わせ 交流センター構想

について、説明をわかり
やすく工夫すべきでは。
やさしいものにしたい。
政策企画部長 市民の意
見を聞き、よりわかりや
すいものにしたい。

問い合わせ 農産物の加工技術
の指導をもっとすべきで
は。

問い合わせ 定額給付金につ
いての見解、支給方法は。

産業振興部長 保証認定
件数は現在まで41件。資
金繰り円滑化支援緊急資
金は12件、約3億1,6
00万円の融資が実現。

市長 世界的な金融不
安、原油価格高騰、株価
下落から市内の企業にも
影響が大だ。しっかりと対
応したい。

市長 生活支援、地域経
済の活性化など期待どお
りの効果を願っている。
所得制限は設けない。

市民部長 迅速、正確な
方法として、口座振り込
みを主体に。困難な方に
は現金給付としたい。

問い合わせ 「長期財政計画」の策定・公表が
必要と思うが



整備が望まれる生活道

市長 行財政改革の一貫
でもあるし、自立経営を

山崎英志

問い合わせ 公の施設について
養護老人ホームなどの福
祉施設の民営化と、ゆ
りの里などの指定管理終
了についての見解は。

問い合わせ

答 「財政推計」を3月に公表する

問い合わせ

答 「財政推計」を3月に公表する



吉井 傳

答 担い手育成協議会等で検討 山間地農業を守るすべは

問い合わせ 山間地農業の衰退と高齢化の進行で、集落維持さえ困難になりつつあるが対策は。

市長 市全域が中山間地域だ。そこに住む人が地域を愛し生き甲斐を持つことが重要だ。

産業振興部長 集落ぐるみで取り組む体制づくりが重要で、担い手育成総合支援協議会等を通じて取り組んでいく。

問い合わせ 周辺地で商店が消え生活不安が高まっているが、安心生活の確保についてどうか。

政策企画部長 今後デマンド型バスを含め交通手段の確保に努める一方、地域自主組織との連携を図り、中山間地域の生活のありようを検討する。



今シーズンの降雪量は？



藤原信宏

保育業務委託の全体計画を示せ

答 全体の数値化計画化は困難だ

問い合わせ 「かもめ保育園の十分な検証を待って進めると」としながら、三刀屋保育所の業務委託計画が示された。実施後わずか3ヶ月の検証では時期尚早、検証結果に値しないと考えるがどうか。

健康福祉部長 委託後の保育所の現状を把握し、今後に反映することが大事で、保護者の意見を基に充実に努めていく。

臨時職員の多い三刀屋保育所の委託が直ちに経費削減に繋がらず、

問い合わせ 厳しい建設業界の中で今後の除雪機械の確保と、安全生活確保の観点で、公私道問わず除雪すべきと思うが。

建設部長 今年度から委託業者が保持している機械に対し、管理経費の一部を助成することとした。除雪については基本的に公道のみ実施するが、緊急事態があれば私道でも除雪する。一般的に私道は地元対応で願いたい。



平成22年度完成にむけ進むダム本体工事



佐藤 隆司

答 地域の皆様と一緒に 尾原ダム周辺整備は、 夢と希望ある計画を

問い合わせ 幼・小中学校の統廃合は、耐震診断と適正規模適正配置検討委員会の報告を受け、10年・15年先を見据えた今後の対応と取組みを伺う。

教育長 子ども達の育ち、学びを最優先し、学校運営や子ども達の生活・保護者の皆様のご意見を安全面に配慮し、地域・保護者との協議を重視して、児童数による教育環境の格差対策を図る。

問い合わせ 統廃合には時間と要するが、その間の小規模の幼稚園や小中学校の児童数による教育環境の格差対策を図る。

教育長 幼稚園や学校間の交流活動を重視し、宿泊交流やスポーツ交流を盛んに取り組んでいる。

問い合わせ 交流センター計画は、公民館や地域自主組織の充実が図られている地域からモデルセンターとして設置できないか。

政策企画部長 地域づくり検討委員会や市政懇談会、説明会を踏まえ1年間の猶予期間を設けて22年4月一斉移行が妥当と判断している。

問い合わせ 尾原ダム周辺整備は、雲南省の将来に夢と希望ある計画を期待するが市長の決意を伺う。

市長 22年度完成であり地域に開かれたダム整備計画に向け、地域の皆様と一緒に懸命に進める。

一般質問

政策企画部長 今後、全
市的な立場でまちづくり
を進める必要があると考
える。合併後4年が経過
し、新たな行政課題への
対応も迫られており、来
年度から2年間をかけて

常に重要なことと考へて
いるが、産業別目標設定
は、数値把握が困難だ。
地域内食料自給率目標
は、設定に向けて努力す
る。他産業については、
今後の課題として検討し
たい。

問い合わせ 地域経済活性化のために、産業別地域目標を設定しては。

答 今後の課題として検討したい地域経済活性化に目標設定を



高橋雅彦

職員の削減計画も示されない。経費ならびに定数削減、待機児童の解消や保育サービスの向上等明確な全体計画を示すべきだ。

た、一定の経験年数を持つ職員構成の確保や、改善を促す第三者機関の設置など、保育の質を維持する方策を示された。



板持達去

答 市の強い決意を示し理解を得たい
交流センター設置条例の意義は

問い合わせ
交流センター設置
条例を21年3月に制定する方針だが、その目的は。

供を行つてゐる。市・I.A雲南・合銀の三者で勾括協定を結び、ふるさと

交流センターの一つの柱である地域福祉部門を地区福祉委員会に委ねる方針だが、可能なのか。市長 交流センター設置条例を制定することによって、市の強い決意を市民に示すのがねらい。

問い 街のにぎわいを取
り戻す一つとして、今春
の体感フェアー“さすき
桜祭り”を継続していく
か。

産業の実現 地域雇用の
創出に努め定住化を図る
たい。

健康福祉部長 雲南社協
とも協議しており、十分
担えるものと考えてい

産業振興部長 体感フエ
アーレは成功だった。趣向を工夫し是非継続した

問い合わせ 若者定住化のポイントは雇用の創出だ。産業振興センターの役割は大きい。戦略をどのように描いているか。

問い合わせ 特養、老健を運営する社会福祉法人に対する土地の有償貸与は酷だ。

産業振興部長 新産業創出のための研修会の開

貸与の契約期間は担保する。法人の理解を得たい



にぎわい創出が求められる商店街



安井 誉

市長の政治姿勢について

答 健全財政の早期確立を

プロジェクトの推進と、
交流センター構想を軸と
した市民と行政の協働に
よるまちづくりだ。

が出した要因は、
問い合わせ 財政非常事態宣言

総務部長 歳入計画が三位一体改革で財政縮小を
せざるを得ない地財
シヨックが起つた影響が
大きい。

問い合わせ 合併時、財政調整
がつかなかつたか。

総務部長 すでに平成16
年度の財政計画が出来て
いた。その後の交付税の
確定であり調整困難で
あった。

問い合わせ 市民に財政健全化
に向つて何を求めるの
か。

総務部長 行財政改革に
懸命努力していることの
御理解をお願いしたい。

問い合わせ 医療相談員、介護
支援スペシャリストの配
置を求めたい。

市長 市政を担当され市民の声
をどう受けとめてこれら
たか。

市長 赤字財政より脱却
し、雲南省一体となつた
醸成感を作り上げること
だと受け止めた。

問い合わせ 二期目の取組み
は。

市長 健全財政の確立、
公立雲南総合病院の経営
健全化、雲南ブランド化
する。



深田 徳夫

老人ホーム等の譲渡はなぜ

答 サービスの向上を目指して



特別養護老人ホーム笑寿苑

商工業の活性化対策は

答 国が迅速に対応すべき



加藤 欽也

問い合わせ 急激な不況により
商工業は苦境に陥つてい
る。また市内の消費の流
出の現状をどう捉えてい
るのか。

市長 国が責任を持つて
迅速に対応すべきこと
で、地方の声を国にぶつ
けていきたい。

問い合わせ 早急に市として商
工業を守る対策は。
市長 同様の施設で民設
民営がある。競合で質を
高めサービス向上を。

問い合わせ どの施設から民営
化計画を立てているか。

市長 具体的計
画はこれからで3年以内
に譲渡等実施したい。

健康福祉部長 具体的計
画はこれからで3年以内
に譲渡等実施したい。

政策企画部長 交流セン
ターの予算措置計画の算
定基準で執行する。3年
を目途にその時点に合
たり方をその都度構築
していきたい。

産業振興部長 起債の制
限を余儀なくされている
財政状況のため、現時点
では難しい。実施計画策
定の中で議論したい。

問い合わせ 譲渡先の経営が成
り立つことが大切。老朽
施設の修繕等はいかに。

問い合わせ 市内企業の活性化
策は。



一般質問



福島 光浩

一期目の施政方針は

答 着実に基礎づくりを進める

問い合わせ
二期目で目指す雲南市づくりの方針は。

市長 3つの課題、5つの実践、6つの施策を着実に進めること。

問い合わせ

計画の進捗状況、数値目標などを市民に分かちやすく伝えることが協働のまちづくりには重要である。どの様な方法を考えているか。

教育長

ネットワークを広げるには行政の責務であり、社会教育担当職員を配置するのも支援のひとつ。ボランティアの養成・支援は、国や県の事業を積極的に取り入れて実施していく。地域コーディネーターを中心多くの方に学校に入っていただきたい。

問い合わせ
子どもの図書活動の充実を図るために、公立図書館と学校図書館の連携強化が必要と考えるが市の対応は。

市長 昨年度スタートさせた行政評価システムの機能充実を図る。

教育長 地域コーディネーターとボランティアを中心に、環境整備、図書のデータベース化、公

と各学校間のシステム統合等、来年度学校図書館の充実に取り組む。

問い合わせ
幼・保・小・中、また行政や各種ボランティアの連携、支援策、人材確保と育成に対する考えは。

問い合わせ
市長 子育てするなら雲南市と言つてももらえるようなまちづくりが、雲南を育てる施策は。

問い合わせ
市長 雲南省の一番の財産は「人」である。「人」を育てる施策は。

問い合わせ
市長 喫緊の課題であり、しっかりと対応する。

問い合わせ
市長 喫緊の課題であり、市報うんなんの交

き積極的な情報公開が求められている。

市づくりの要である。

問い合わせ
市長 選挙は無投票であつたため、これまでの4年間を市民が評価・審判する機会は無かつた。市長はこれまで以上に市民・議会の声を尊重すべきと考えるが。

問い合わせ
市長 平成27年度から始まる交付税の一本化算定による大幅な減額に備え、平成24年度には収支均衡にしておく必要がある。

問い合わせ
市長 尾原ダム対策について

問い合わせ
市長 平成24年度に収支均衡にする不退転の決意上に民意の把握に努めている。これまで以上に民意の把握に努める。

問い合わせ
市長 ①ダム完成まで2年となってきた。ダム周辺整備について、これまでの経過を踏まえ、国・県に対してしっかりとモノ申していくことが大切と思うが。

問い合わせ
市長 ②ダム完成後の周辺地域活性化対策を見据え、各課からなる府内プロジェクトを組織し対応すべきでは。

周藤 強



無投票当選の意義をどう捉えているか

答 これまで以上に民意の把握に努める

問い合わせ
市長 ①地元関係者に犠牲感のみが残らないように、3点セットの推進と周辺地域活性化対策に取り組む。

②そうした体制は必要である。これから進めていく。



図書活動充実の中核を担う市立図書館

議員活動報告

雲南地域議会議長連絡会中央要望

12月16日、雲南地域議会議長連絡会により島根県選出の各国会議員に対し中央要望が行われました。

主な内容は「地域医療を守る諸施策について」、「地域振興と地域経済の発展を期すための整備事業促進について」、「国の制度改革について」の3点。

国において積極的な地域振興策を講じるよう強く要望しました。



請願・陳情 審査結果	採択されたもの	繼續審査となつたもの
● 学校教育予算(当初)の必要額の確保についての陳情	● 上下水道整備に関する陳情書	● 「上下水道整備に関する陳情書」
雲南市PTA連合会 会長 大坂 耕	薦澤自治会 会長 細田 劍 他2名	

編集後記

平成20年11月16日全市一区による、雲南市議会議員選挙が執行され、24名の議員が選出されました。11月28日の臨時会で議会構成が決まり、実質的な議会活動が始まりました。4年間議員として雲南市発展のため、全員一丸となり努力する決意です。『市議会うんなん』が、市民の皆さんにご愛読いただけるよう、編集委員全力を上げ取り組んでいきます。市民の皆さんのご意見、ご感想をお寄せ下さい。平成21年は丑年にあやかり、一步ずつ確実に歩を進め、雲南市がさらなる発展することを願っています。



議会広報編集委員会

委員長
副委員長

周福高山 周山崎 藤島橋崎 藤崎正光 雅英正一郎
強浩彦志 志幸

